

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表： 令和6年2月28日

事業所名： はぐくみ鶴見緑地教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2	法令を遵守したスペースの確保を行っております。	イベント、遠足、長期休暇などは利用人数が増える日がありますが、ガイドラインに定められた範囲内または対処方法をとっております。
	2	職員の配置数は適切である	8	0	研修等を受講し専門分野の指導を心掛けています。	専門性を高めるために定期的な研修を行い支援の質の向上に努めてまいります
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	訓練スペースにクッションマットを置いて安全性を確保しています。	安全にすごしていただけるよう可能な範囲で改良を努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	2	空気清浄や換気、温度調整に常に気を配り水回りなど清潔に保っています。	定期的に換気や室内温度の調整を行い快適な空間を心掛けています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	週1回の職員会議にて業務の確認に加え週ごとの目標設定や振り返り、成果や次の目標設定などをおこなっております。	優先業務、通常業務に分類しその中で全体業務、個人業務など振り分けを行うことでやるべきことを明確にし業務の目標達成率の向上に努めてまいります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	様々な評価やご意見等に対して職員内で意見を出し合いより良いサービスや支援を出来るよう業務改善に取り組んでいます。	毎年いただきますご意見に対してお答えできますよう努めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	開所当初から評価表の実施しております。	いただいたご意見を集計し毎年ホームページ上に公表しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4		外部評価は行っていませんが、定期的に第三者の方に来所していただき、助言を受け業務改善に努めています
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	年間計画のもと内部研修に加え外部研修にも参加し職員の知識と業務の質の向上につとめています。	引き続き内部研修に加え外部研修に参加するとともに必要に応じて研修を追加し資質の向上を行ってまいります。
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	1	見学時にアセスメントシートにご記入いただきそれをデータ管理し定期的に更新し支援計画を作成しております。	面談のお時間の取れない場合、お電話にてご相談させていただくなど様々な対応をとらせていただいております。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	児童に合わせたアセスメントツールを用いて個別聞き取りを行っています。	定期的にあセスメントの更新を行ってまいります。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表： 令和6年2月28日

事業所名： はぐくみ鶴見緑地教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	2	日々の支援やモニタリングを通して、保護者の方からのご意見やご要望を伺い、ガイドラインにもとずいて具体的な支援内容の設定を行っています。	就学にあたり通園先との連携が取れるよう努めてまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	支援後に気付いた事や改善点など話し合い計画にもとずく支援を行っています。	療育知識だけではなく、1歳児2歳児の定型発達の知識も職員全体で持ち合わせていけるようにします。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	チームでプログラムの立案を行い各行事の担当職員を設け、職員が全員把握できるようハンドブックを活用しています。	タイムスケジュール、安全対策、特性に合わせた配慮なども考慮しチームで立案しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	月1度の室外学習に加え電車を使つての行事、制作など様々なプログラムを行っています。反応が良かったものは取り入れながら活動プログラムの固定化がないよう考えを凝らしています。	どのようなプログラムを希望しているかなど意見要望を取り入れられるようアンケートを行います。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	児童の特性や年齢に応じて個別と集団活動の組み合わせた支援計画を作成しております。	子どもの状況に応じた支援計画を作成し日々の支援ではその日の状況に応じて内容を変えたりなど臨機応変に対応しています。
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	職員会議を行い児童に対して課題を出し合いそれに対して必要な支援の内容を打ち合わせをしています。	参加できなかった職員とも共有できるように連絡ツールを用いて情報共有しております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	支援終了後に1日の取り組みの振り返りを行い職員間で気付いた点や改善すべき点の話し合いを行い情報共有している。	PDCAサイクルを意識し、職員間の打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しどのように対応、改善すべきか具体的に決定し次につながるよう工夫しております。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表： 令和6年2月28日

事業所名： はぐくみ鶴見緑地教室

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	その日の様子などデータに残し共有し変化などキャッチしやすい状況をつくり、より良い療育の提供ができるよう努めております。	日々の記録として、ツールを用いて支援計画と照らし合わせながら活動の様子や気になることを入力し、支援の検証・改善につなげています。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	2	定期的にモニタリングを行い支援計画に繋げており児童の様子などに応じ適宜計画の見直しを行っています。	ご家族様のお仕事の関係上面談に至らない場合、お電話などで対応しモニタリングの機会を作っております。
関係機関や保護者との連携	21 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	管理者だけでなく児童担当者など対象児童に精通した職員も参画しています。	会議後は議事録を作成し全職員に情報共有を行っております。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	2	子育て支援センター、保育園など各関係機関と定期的に連携し情報共有を行っています。	各関係機関との連携を増やし支援の輪を広げていきます。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	4	現在、該当する児童がいません。	現在、該当児童がいないため、利用の際に連携体制をとれるようにします。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	4	児童の主治医を把握し、協力医療機関等と緊急時に対応出来るよう連絡体制を整えています。	園へ児童の支援内容を共有しておりますが、就学先への情報共有が出来るよう努めます。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	支援内容等の情報共有と相互理解を図っており支援に反映しています。	情報共有した内容を職員だけでなく保護者の方にもお伝えしています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	各児童の学校とも連携を行い支援の方向性の統一を図っています。	園へ児童の支援内容を共有しておりますが、就学先への情報共有が出来るよう努めます。
関係機関や保護者との連携	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4	区役所の子育てポートセンターと連携をおこない助言を受けたり情報共有しております。	現在に至るまで行えないままです。研修の機会があれば積極的に参加できるようにします。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	6	外遊びの際に公園で一緒に野球、サッカー、鬼ごっこをしたりなど交流の機会があります。	意図して機会を設けているわけではないので夏休みなどを利用して区のイベントに参加するなど工夫します。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7		区役所で開催されている部会や会議などの情報を収集し時間の許す範囲で検討し参加できるようにします。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表： 令和6年2月28日

事業所名： はぐくみ鶴見緑地教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	児童の様子を連絡帳に記載するとともに送迎時に保護者と情報共有を行い子どもの発達の状況や課題に対して共通理解を深めています。	送迎時にその日の様子をお話していますが、状況に応じて別途お電話などで共通理解に努めています
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	3	送迎時のご相談やモニタリング時に助言をおこなっています。	送迎時、モニタリング時等に相談・実践の機会を設けていますがプログラムとしては実施できていないので今後提案を行っていきます。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	見学、契約時に対応しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	2	アセスメントしたニーズ、日々の様子記録、職員間会議などを元に支援計画を作成し保護者に確認してもらい同意を得ています。	ご家族様のお仕事の関係上面談に至らない場合、お電話などで対応しアセスメントを行っております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	保護者からの相談には連絡帳や送迎時、場合に応じてお電話や面談などの機会を設けて解決に向かえるよう助言をおこなっております。	引き継ぎ相談しやすい環境作りを行ってまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	4	保護者参加のイベントを計画し実施しています。	開催はしましたが保護者の方への周知が行き届いていなかったため次回は月初にお伝えしている行事案内の詳細にその旨を記載します。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	相談やご意見に対してはまずは管理者への報告、その後職員間で相談しできるだけその日遅くても次の日にはお答えできるよう迅速な対応を心がけております。	ご相談や申し入れについては電話だけでなく送迎時、連絡ツール、連絡帳への記載など幅広くご相談をお受けし、対応できるように努めています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	ホームページなどで活動内容や行事予定を定期的にアップするとともに月初に連絡ツールを介して行事の詳細を記載したピラで案内しています。	共通の連絡ツールをお持ちでない保護者には行事のピラを紙面でお渡ししております。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表： 令和6年2月28日

事業所名： はぐくみ鶴見緑地教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	個人情報の取り扱いには特に注意しており、必ず鍵のかかる場所に保管し連絡帳や様子の記録などにも別の児童の名前を不透明にするなど徹底しております。	プライバシーポリシーを策定し職員間で共有し外部メディア、クラウドの使用を禁止しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	手話や気持ちを表す絵カードなど作成し適宜使い分け意思疎通を図れるよう努力しております。	保護者の方には電話や連絡ツール、連絡帳など複数の方法で情報伝達を行うことでより正確に伝えられるよう努めています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	招待は出来ていませんが地域の方にも分かりやすいように事業所前に事業所内容や毎月のイベントのお知らせを張り出しどんな事しているのか知ってもらえるよう工夫しています。	利用配慮が必要なため慎重に取り計らってまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	マニュアルの策定し定期的な研修を計画して実行しています。	保護者の方への公開が出来ておらず、今後公表できるよう改善に努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	非常災害の発生に備え定期的に事業所内外で訓練、研修を行っています。	様々なシミュレーションを想定し継続して訓練を行ってまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0	保護者の方から発作時の対応などアセスメントし病院からの指示を元にマニュアルを児童ごとに策定し対応できるようにしています。	個々の発作時等の対応をマニュアル化し個人ファイルの先頭に入れすぐに対応できるように対策をとっています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	アセスメント時に保護者に確認し全職員で周知対応しています。	全職員が閲覧確認できるよう資料を配置しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2	実際あったヒヤリハット事例をもとに改善策を話し合う機会を設け再発防止に努めています。	直近の事例集だけでなく定期的に過去の事例集を参考に振り返りを行います。
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	研修会等に参加し、未参加員には研修記録シートを用いて情報共有を行うとともに第三者を含めた虐待防止委員会を設置し方針を決定した後事業所にて関係資料を使い内部研修を行っています。	ツールを用いて職員のストレスチェックを毎日行っており職員のメンタルヘルスに気を配っています。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表： 令和6年2月28日

事業所名： はぐくみ鶴見緑地教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	4	現在該当する児童はおりません。	現在、該当する児童はいませんが、今後やむを得ず身体拘束を行う場合、保護者の方と確認を取り支援計画に記載いたします。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。